

＜吸入指導における統一事項＞

確認・指導項目	デバイス	手技・指導内容	備考
1. 薬剤名と用法の把握 2. カウンターの確認	DPI,pMDI,SMI 共通	指差確認喚呼	
3. デバイスの操作	DPI,pMDI,SMI 共通	背筋を伸ばす。 姿勢を正す。	
	pMDI	吸入前 pMDI はすべて振る。	患者の混乱を避けるため、キュバール®など振りが不要な薬剤であっても振るよう指導する。
4. 吸入前の息吐き	DPI,pMDI,SMI 共通	無理のない程度に	
5. 吸入の深さと速さ	DPI	2～3 秒かけるつもりで速く深く	
	pMDI,SMI	クローズドマウスで行う。 5～6 秒以上かけてゆっくり深く吸う。	同調が難しい場合やむせるときはエアロチャンバーの使用を考慮する。
6. 吸入後の息止め	DPI,pMDI,SMI 共通	5 秒以上 無理のない程度に	パルミコート・シムビコート・アズマネックスは息止めの必要はないが、すべて息止めをすることで統一する。
7. ゆっくり息吐き	DPI,pMDI,SMI 共通	口からでも鼻からでも自由。ゆっくりと吐く。	
㊟1回に2吸入する場合の吸入の間隔	DPI,pMDI,SMI 共通	1分間の間隔をあける。	
8. うがい	DPI,pMDI,SMI 共通	ガーグリング・リンシングを1回5秒以上、各3回ずつ行う。	ガーグリング：上をむいたうがい「ガラガラ」 リンシング：口腔内洗浄「ブクブク」

作成 済生会宇都宮病院薬剤部

2017年4月1日